

**NHOSA**  
<http://www.nhosa.com>



# 6 処置別統計資料

処置別統計資料業務では、指定した期間・条件で集計を行い、処置の算定回数や実日数、医師一人に対しての算定回数、平均割合等の一覧表示、発行を行うことができます。

また、集計したデータを他のソフトで読めるようにする（DOS 変換）ことも可能です。



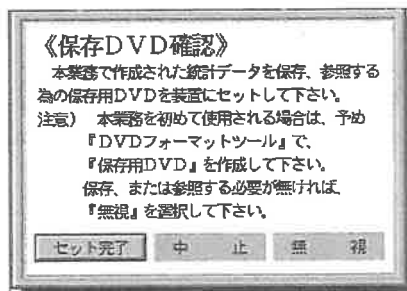
以下に該当する場合は、お手元に「保存用 DVD」を準備してください。

- ・「処置別統計資料」業務の集計結果を DVD に保存したい場合
- ・以前、「処置別統計資料」業務で保存したファイルを読み込みたい場合
- ・保存ファイルと、集計結果の比較表示を行いたい場合

## 1. 処置別統計資料の起動／終了方法

### 1.1 処置別統計資料の起動方法

1. 業務選択画面の [月次業務] パネルを選択してください。
2. [処置別統計資料] パネルを選択してください。
3. ≪保存 DVD の確認≫画面を表示します。



セット完了	集計結果を保存するまたは保存ファイルを参照する場合は、保存用 DVD をセットして [セット完了] を選択してください。 ≪ DVD の接続中≫ → ≪更新中≫画面を表示した後、メニュー画面を表示します。
中止	業務を終了し、業務選択画面に戻ります。
無視	統計データを保存しない、または保存ファイルの参照を行わない場合は、[無視] を選択してください。 ≪確認≫画面を表示します。[はい] を選択すると、メニュー画面を表示します。

### 1.2 処置別統計資料の終了方法

1. 処置別統計資料の現在表示している画面で [End] キーを押してください。
2. メニュー画面に戻ります。[End] キーを押してください。

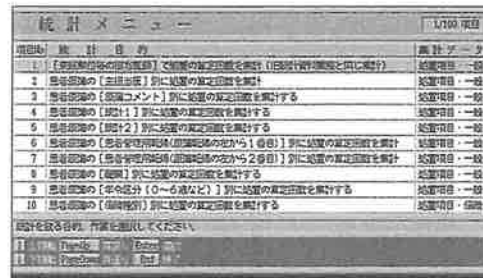
保存用 DVD をセットしている	≪ DVD 接続解除中≫ → ≪終了確認≫画面を表示します。 保存用 DVD を取り出して [Enter] キーを押すと、業務選択画面に戻ります。
保存用 DVD をセットしていない	業務選択画面に戻ります。

## 2. 処置別統計資料の集計方法

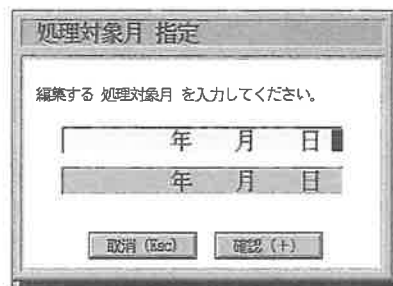
### 2.1 統計メニューから集計する

統計メニューは、あらかじめ集計条件が設定してあるので、集計条件を設定する必要なく集計することができます。

1. メニュー画面から「統計メニュー」を選択してください。
2. 統計メニュー画面を表示します。  
「統計目的」を選択して [Enter] キーを押してください。



3. 集計する期間の年月日を入力して [+ ] キーを押してください。

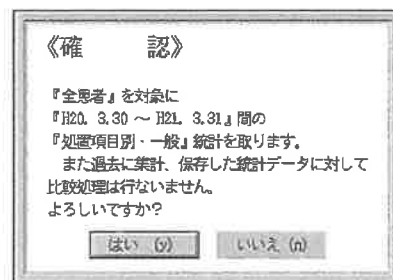


開始年月日を指定しない場合、終了年月日から1年前の期間を集計します。

終了年月日を指定しない場合、開始年月日から1年間を集計します。

開始年月日・終了年月日ともに指定しない場合、当日から1年前の期間を集計します。

4. <<確認>>画面を表示します。[はい] を選択してください。



5. 集計が終了すると、《確認》画面を表示します。[Enter] キーを押してください。

<p>保存用 DVD をセットしている</p>	<p>ファイル保存処理を開始します。 保存処理終了後、集計結果を表示します。</p> <div data-bbox="805 423 1118 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《 確 認 》</p> <p>『集計処理』が終了しました。</p> <p>『集計データ』を保存する為に『保存処理』に移ります。</p> <p>『確認』キーを押して下さい。</p> <p style="text-align: right;">確認 [Enter]</p> </div> <p>➡ 保存方法については、本書 78 ページの「3.1 ファイル保存を行う」を参照してください。</p>
<p>保存用 DVD をセットしていない</p>	<p>集計結果を表示します。</p> <div data-bbox="802 837 1109 1057" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《 確 認 》</p> <p>『集計処理』が終了しました。</p> <p>『確認』キーを押して下さい。</p> <p style="text-align: right;">確認 [Enter]</p> </div>

## 2.2 集計条件を設定して集計する

1. メニュー画面から、「集計条件設定」を選択してください。
2. 条件設定画面を表示します。  
「集計期間」に集計したい期間の年月日を1年以内で入力してください。



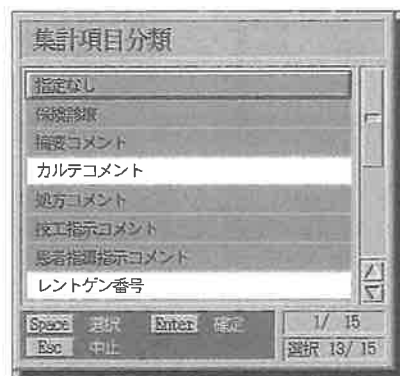
- 開始年月日を指定しない場合、終了年月日から1年前の期間を集計します。
- 終了年月日を指定しない場合、開始年月日から1年間を集計します。
- 開始年月日・終了年月日ともに指定しない場合、当日から1年前の期間を集計します。

3. 「集計対象患者」を入力します。[F5 候補一覧] から該当する項目を選択してください。

全患者対象	WiseStaff-9 に登録されている全患者を集計対象とします。
保存ファイル	保存ファイルに保存されている患者を集計対象とします。

4. 「集計データ」を入力します。[F5 候補一覧] から該当する項目を選択してください。

5. 「集計項目分類」を入力します。[F5 候補一覧] から該当する項目を選択してください。  
[Space] キーを押すごとに、項目選択（カーソル赤色）／選択解除（カーソル白色）となります。  
[Enter] キーで確定されます。



6. 「比較項目」を入力します。[F5 候補一覧] から該当する項目を選択してください。



⚠ 注意 「保存用 DVD」をドライブにセットしていない場合は、比較をおこなうことができません。

7. 「2. 合計回数」または「3. 合計点数」を選択すると、「統計資料業務 保存ファイル一覧」画面を表示します。  
比較するファイルにカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。

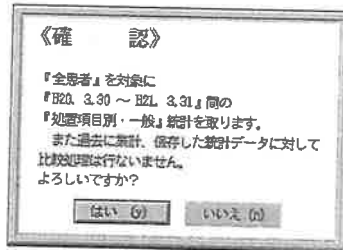


8. 「比較項目」の右横に、比較対象のファイル情報が表示されます。



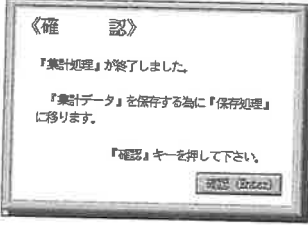
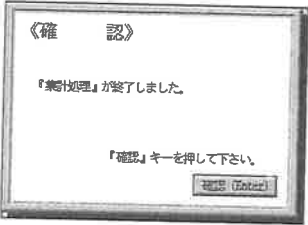
➡ データの見方は、本書 76 ページの「2.3 比較表示を行う」を参照してください。

9. 設定が終了したら、[End] キーを押してください。メニュー画面に戻ります。
10. メニュー画面から、「集計実行」を選択してください。  
 ≪確認≫画面を表示します。[はい] を選択してください。集計を開始します。



※ 集計項目調査の為の仮集計（「集計テーブルの作成」）実行後に、集計を行います。

11. 集計が終了すると、≪確認≫画面を表示します。[Enter] キーを押してください。

保存用 DVD をセットしている	<p>ファイル保存処理を開始します。          保存処理終了後、メニュー画面に戻ります。</p>  <p>⇒ 保存方法については、本書 78 ページの「3.1 ファイル保存を行う」を参照してください。</p>
保存用 DVD をセットしていない	<p>メニュー画面に戻ります。</p> 

12. メニュー画面から、「統計データ一覧」を選択してください。集計結果を表示します。



### 2.3 比較表示を行う

「集計条件設定」の「比較項目」を設定した場合の表示方法は以下のとおりです。

1. メニュー画面の「集計実行」で集計を行ってください。
2. 「統計データ一覧」を選択してください。集計結果を表示します。

統計資料 表示

集計期間: 平成15年 9月16日 ~ 平成16年 9月15日 | 対象患者: 全患者 | 実行データ: 処置項目別・一般 | 比較項目: 合計回数

表示項目分類: 処置項目分類 | 項目名: 処置項目名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100

処置項目名	合計回数	合計金額	患者数	平均日数	平均料金	比較項目
診察	118	9,942	40	117	23,60000	2,469325
指導管理 等	29	2,720	18	29	5,800000	0.938139
投薬	11	320	9	9	2,200000	0.121938
検査及び画像診断	39	3,278	29	39	5,800000	1.201904
処置及び手術	88	13,146	51	88	17,600000	4.822362
処方箋発行及び欠保検出	169	23,286	118	169	33,800000	6.581798
概要コメント	24		13	19	5,800000	
自費診療	11	220,000	7	11	2,200000	106.419285
カルテコメント	2		2	2	0,400000	
コメント その他	9		8	9	1,800000	
【 集 計 】	500	272,507	291	456		

3. [→] キーを押してください。「比較項目」で設定したデータと比較表示を行います。

統計資料 表示

集計期間: 平成15年 9月16日 ~ 平成16年 9月15日 | 対象患者: 全患者 | 実行データ: 処置項目別・一般 | 比較項目: 合計回数

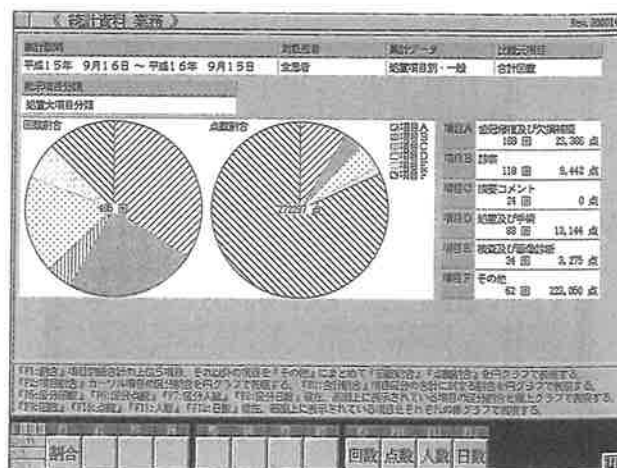
表示項目分類: 処置項目分類 | 項目名: 処置項目名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100

処置項目名	合計回数	合計金額	患者数	平均日数	平均料金	比較項目	比較率 (%)	比較率	比較率%
診察	118	9,942	40	117	23,600	118	119	0.99	
指導管理 等	29	2,720	18	29	5,800	29	29	0.00	
投薬	11	320	9	11	4,100	11	11	0.00	
検査及び画像診断	39	3,278	29	39	11,200	39	39	0.00	
処置及び手術	88	13,146	51	88	25,700	88	88	0.00	
処方箋発行及び欠保検出	169	23,286	118	169	19,800	169	169	0.00	
概要コメント	24		13	19					
自費診療	11	220,000	7	11	4,142,800	11	11	0.00	
カルテコメント	2		2	2					
コメント その他	9		8	9					
【 集 計 】	500	272,507	291	456		495	500	1.01	

## 2.4 グラフ表示方法

集計結果のグラフ表示方法は以下のとおりです。

1. メニュー画面の「集計実行」で集計を行ってください。
2. 「統計データ一覧」を選択してください。集計結果を表示します。
3. [F10 グラフ] を押してください。グラフを表示します。  
項目 A～F の回数割合・点数割合のグラフを表示します。



### ファンクションキー

[F1 割合]	各項目の回数割合・点数割合を円グラフで表示します。
[F9 回数]	各項目の診療回数を棒グラフで表示します。
[F10 点数]	各項目の診療点数を棒グラフで表示します。
[F11 人数]	各項目の診療人数を棒グラフで表示します。
[F12 日数]	各項目の診療日数を棒グラフで表示します。

### 3. 集計結果を保存する

#### 3.1 ファイル保存を行う

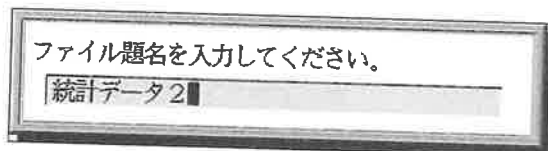
保存用 DVD をセットして集計を行った場合、集計後、集計結果の保存作業を開始します。

1. 集計後に表示される《確認》画面で [Enter] キーを押すと、統計資料業務 保存ファイル一覧画面を表示します。

何も入力されていない行にカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。



2. ファイル名を入力して [Enter] キーを押してください。

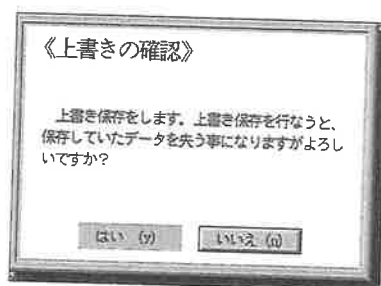


3. ファイル保存作業を開始します。  
ファイル保存作業が終了すると、メニュー画面に戻ります。



注意

すでに保存してあるファイルに保存を行おうとすると、《上書きの確認》画面を表示します。  
[はい] を選択すると、ファイルは上書きされます。



## 3.2 保存ファイルの表示方法

1. メニュー画面の「保存ファイル読み込み」を選択してください。
2. 統計資料業務 保存ファイル一覧画面を表示します。  
表示したいファイル名にカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。

ファイル名	統計期間	統計データ
統計データ1	02. 3.1 ~ 02. 3.15	処置項目 - 統計
統計データ2	02. 3.15 ~ 02. 3.21	処置項目 - 統計

3. ファイルの読み込みが終了すると、メニュー画面に戻ります。
4. 「統計データ一覧」を選択してください。  
読み込んだファイルの集計結果を表示します。

## 3.3 保存ファイルの編集方法

- ⇒ メニュー画面「保存ファイル編集」については、リコール業務にある「ファイル編集（複写／削除）」と同様の操作となります。  
本書 36 ページの「7. ファイルの編集を行う」を参照してください。

## 4. 処方した薬剤の数量を確認する

### 4.1 ユーザーリストの作成方法

集計項目を設定し、設定した集計条件を保存することができます。

保存した集計条件のことを「ユーザーリスト」といいます。

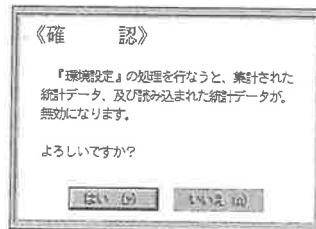
ユーザーリストは、「環境設定」で作成できます。

例) 処方した薬剤の数量を確認する為のリストを作成します。

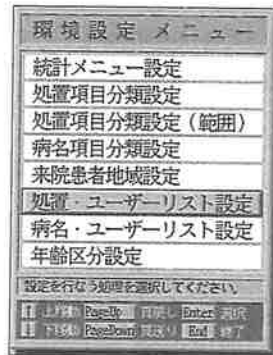
1. メニュー画面から、「環境設定」を選択してください。



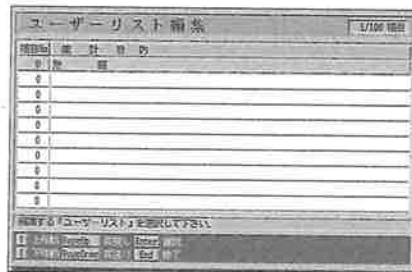
集計後や、ファイルを読み込んだ後に「環境設定」を開くと、《確認》画面を表示します。環境設定の処理を行うと、集計された統計データが無効になります。問題がある場合は、[いいえ]を選択して集計データを保存するか、ユーザーリスト作成後、再度集計を行ってください。



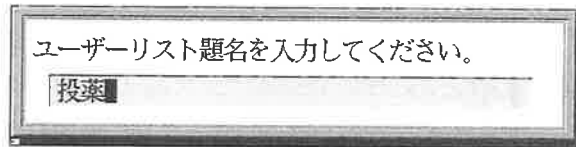
2. 環境設定メニュー画面を表示します。  
「処置・ユーザーリスト設定」を選択してください。



3. ユーザーリスト編集画面を表示します。  
「無題」の行にカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。



4. ユーザーリスト題名入力画面を表示します。  
ユーザーリストの題名を入力して [Enter] キーを押してください。



5. ユーザーリスト設定画面を表示します。  
集計したい項目にカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。



ここでは、「投薬」をリストに設定します。  
「投薬」にカーソルをあわせて [Enter] キーを押してください。  
右側の画面に「投薬」が入力されます。

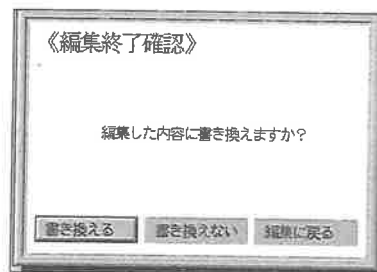


- [F2 全中項目] を押すと、中項目分類を表示します。  
中項目分類で設定することもできます。( [F3 全群項目]、[F4 詳細項目] も同様 )
- [→] キーを押すと、カーソルが右側に移動します。  
カーソルをあわせて [F9 写し取り] や [F10 切り取り] や [F11 貼り付け] を押すと、  
項目の「写し取り」や、「切り取り」や、「貼り付け」を行うことができます。

6. リスト編集を終了する場合は、[End] キーを押してください。  
ユーザーリスト編集画面を表示します。



7. [End] キーを2回押してください。《編集終了確認》画面を表示します。  
[書き換える] を選択してください。  
統計資料業務のメニュー画面に戻ります。



書き換える	編集内容を書き込み、メニュー画面に戻ります。
書き換えなし	編集結果を書き込まずに、メニュー画面に戻ります。
編集に戻る	環境設定画面に戻ります。

## 4.2 ユーザーリストの表示方法

1. 集計実行後、メニュー画面で「統計データ一覧」を選択してください。
2. 集計結果を表示します。[F7 ユーザーリスト] を押してください。
3. ユーザーリスト一覧画面を表示します。  
表示したいユーザーリストにカーソルをあわせて [Enter] を押してください。  
ユーザーリストを表示します。





## 5. 処置別統計資料 Q&A

### 5.1 検索結果を他のソフトで読み込めるようにするには？ (DOS 変換)

DOS 変換を行うと、処置別統計資料の集計結果を、Windows で読み込めるファイル形式に変換します。



本作業は、親機で実行してください。

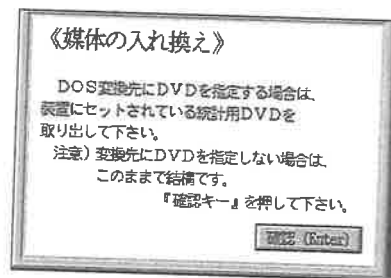


作業には、DOS フォーマットされている DVD が必要となります。  
事前に準備してください。

#### 【DOS フォーマット方法】

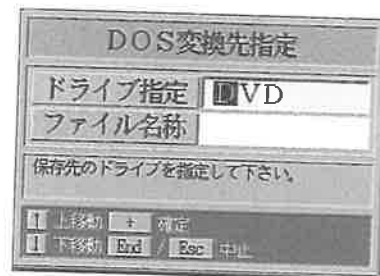
業務選択画面 [メンテナンス] パネル → [特殊メンテナンス] パネル → [USB メモリ初期化] パネル → 選択候補から「1.DVD」を選択 → メインメニュー画面で「7. DVD の初期化 (DOS 形式)」を選択

1. 集計を実行または保存ファイルを読み込みます。
2. メニュー画面から「4. 処置別統計資料 DOS 変換」を選択してください。
3. 保存用 DVD をドライブにセットしている場合、《媒体の入れ換え》画面を表示します。  
DOS 変換データを DVD に保存する場合は、保存用 DVD をドライブから取り出してください。

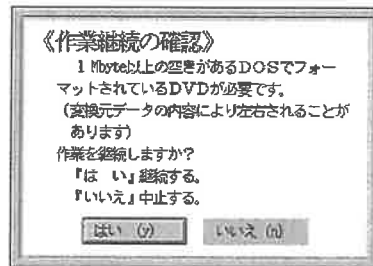


※ 保存用 DVD をドライブにセットしていない場合、上記画面は表示されません。

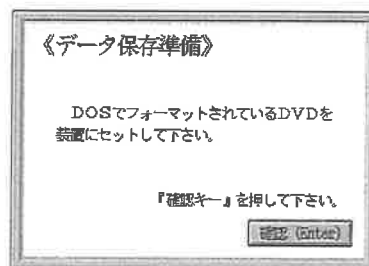
4. DOS 変換先指定画面を表示します。  
「ドライブ指定」にカーソルをあわせて [F5 候補一覧] から保存する媒体を選択してください。



5. 「ファイル名称」に、任意のファイル名を入力してください。  
半角英数字 8 文字以内で入力してください。  
拡張子は自動で設定されますので、入力する必要はありません。  
名称を入力したら、[+] キーを押してください。
6. ≪作業継続の確認≫画面を表示します。[はい] を選択してください。



7. ≪データ保存準備≫画面を表示します。  
DOS フォーマットされている DVD をドライブにセットして [Enter] キーを押してください。



8. ≪保存処理中≫画面を表示し、保存を開始します。
9. 保存処理が終了すると、≪保存処理終了≫画面を表示します。  
DOS フォーマットされている DVD をドライブから取り出して、[Enter] キーを押してください。

